

令和 6 年度実施事業の 進捗について

資料④

【アクションプランの体系】

基本方針	具体的な手法	シート 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1：プロモーション強化	①岸和田の観光資源を知ってもらう基本的な観光情報の発信の強化	国内	◎					○	○	○	○	○	○	
		海外	○			◎	○			○	○	○	○	
	②観光コンテンツに興味をもってもらうキャンペーンや民間媒体の活用	国内	○	◎				○	○	○	○	○	○	
		国内			◎			○	○	○	○	○	○	
	③多様な主体との連携強化	国内			◎			○	○	○	○	○	○	
		海外					◎			○	○			
2：観光コンテンツの充実	①だんじり文化を活かした通年観光の促進の強化			○	○	○		◎				○	○	○
	②豊富な特産品を活かした「食」観光の推進			○	○	○			◎			○		
	③豊かな歴史資源を活用した体験型コンテンツの開発と発信			○	○	○	○	○		◎				
	④観光コンテンツの周遊促進の強化			○	○	○			○		◎		○	
3：受入体制の整備・充実	①市民や事業者等が一体となって観光振興に取り組む機運醸成							○			○	◎		○
	②生活にも配慮した観光地としての基盤整備		○										◎	
	③歴史や文化を次世代に継承するための調査研究や市民への講座							○						◎

基本方針	1：プロモーション強化
具体的な手法	①岸和田の観光資源を知ってもらう基本的な観光情報の発信の強化【国内】
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針 1 -国内②海外① 基本方針 3 -②

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・②・③に記載のとおり、観光地としての認知度、観光情報及び観光情報発信、ターゲットに応じた観光戦略、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 市内外の方に本市の観光資源を知ってもらうため、基本的な発信の強化が必要。あわせて、SNS等も活用した効果的な発信が必要。	(1) 岸ぶらのリニューアル (2) 本市ウェブサイト、SNS、観光振興協会SNS等の活用 【事業概要】 (1) 基本的な観光情報については、多言語対応を図るとともに、サイトを更新することでスマホ対応などユーザビリティの向上を図る。 また、岸ぶらの長所であり、岸ぶらでしかできない、“岸和田のコア情報発信”を活かした企画を実施する。 (2) 本市ウェブサイト、SNS、観光振興協会SNS等を積極的に活用した情報発信、SNSと連動したプロモーションを実施する。 【めざす成果】 (1) 令和6年12月にサイトリニューアルオープンする。 (2) SNSを積極的に活用した情報発信、インフルエンサーの活用、SNSと連動したプロモーションを実施することで、観光振興協会SNSフォロワーの増加、閲覧数の増を目指す。 【数値目標】 (1) 平均滞在時間：1分20秒程度→2分01秒
C：取組みの進捗（R 6.10.2 現在）	
(1) リニューアルに向け、画面構成を協議中 (2) R 6 年度事業イベント等の情報発信	
D：今後の予定	
(1) 令和6年12月リニューアル予定	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	1：プロモーション強化
具体的な手法	②観光コンテンツに興味をもってもらうキャンペーンや民間媒体の活用【国内】
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針 2-①②③④

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・②・③に記載のとおり、観光地としての認知度、観光情報及び観光情報発信、ターゲットに応じた観光戦略、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 周遊イベントによる本市の認知度向上や、動画配信やマス媒体を活用した広域の発信が必要である。	(1) 各事業のプレス発信 (2) 大阪市内など発地によるプロモーション (3) 交通機関等のプロモーション事業へ参画（1 回委員会での意見を受け） 【事業概要】 (1) 今年度実施する事業に関して、プレスリリースの発信によるマス媒体を積極的に活用。 (2) 大阪市内のホテルや鉄道会社に対して、広報物の配架の協力依頼を実施。 (3) 電鉄や空港等でのデジタルサイネージ等の広告媒体を活用。 【めざす成果】 (1) (2) (3) 実施事業の周知による、参加者等の増加を目指す。また、広域的な周知により本市が観光地ではないという印象の払しょくや、観光地としてのイメージアップ等認知度向上を目指し、次年度以降継続する事業等へ繋げる。 【数値目標】 (1) プレス発信目標数：15件 記事掲載目標数：15件
C：取組みの進捗（R 6.10.2 現在）	
(1) 古希事業「お城談義」、桃のバスツアー、城のクラウドファンディング、古希事業「岸和田城がふるえる」、アウモ連携シャインマスカットバスツアー、ライドア라운드 (2) 南海電鉄車内吊り広告へ薪能のポスター掲示等 (3) 各事業者と活用に向けて調整。	
D：今後の予定	
(1) (2) (3) 復興天守70年記念「薪能」・「武者行列」、岸ぶらりリニューアル、いちごバスツアーetc	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	1：プロモーション強化
具体的な手法	③多様な主体との連携強化【国内】
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針2-①②③④

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・②・③に記載のとおり、観光地としての認知度、観光情報及び観光情報発信、ターゲットに応じた観光戦略、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 旅行事業者に旅行商品化を働きかけるため、魅力的な発信が必要。あわせて、情報番組等も活用した効果的な発信が必要。	(1) フィルムコミッションの推進 (2) ツーリズムEXP0への出展 (3) 大阪DCキャンペーンへの参画 【事業概要】 (1) 情報番組や映画等の撮影の対応 (2) 世界の観光・ツーリズムをリードする総合観光イベントとして、国内で行われる、最大規模の総合観光イベントへ出展。 (3) 大阪府内の自治体と観光事業者、JRグループ6社や旅行会社が一体となって行う大型観光キャンペーンに参画し、本市の観光コンテンツ造成に向けて働きかける。 【めざす成果】 (1) テレビ等で広く本市の観光情報を発信し、認知度向上を目指す。 (2) (3) 「大阪・岸和田」の魅力はもとより、様々なコンテンツを紹介し、商品造成・誘客促進に結びつけ、より一層の消費拡大を図る。 【数値目標】 (1) 製作会社等への働きかけによる成約数：1件 (2) 商談数：20件 (3) プレDC掲載商品の販売数：11件（商品掲載数：11件）
C：取組みの進捗（R 6.10.2 現在）	
(1) 随時対応、ロケ地リスト作成中 (2) 9/26～9/29ブース出展（東京ビッグサイト） (3) プレDC実施済（R 6. 4. 1～R 6. 6. 30） 本DCに向けて調整中	
D：今後の予定	
(1) 継続して実施 (2) 商談した事業者との調整等 (3) 本DCでのコンテンツ掲載	

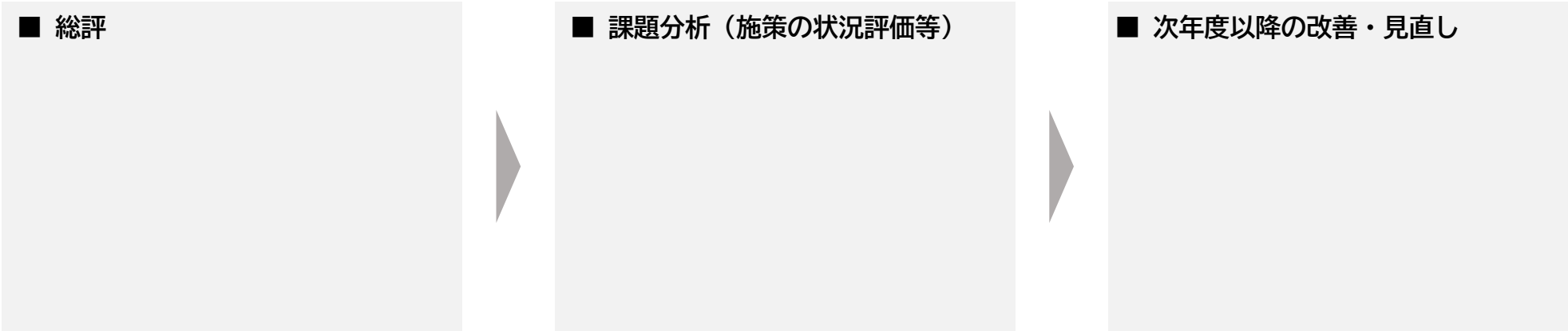
■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し

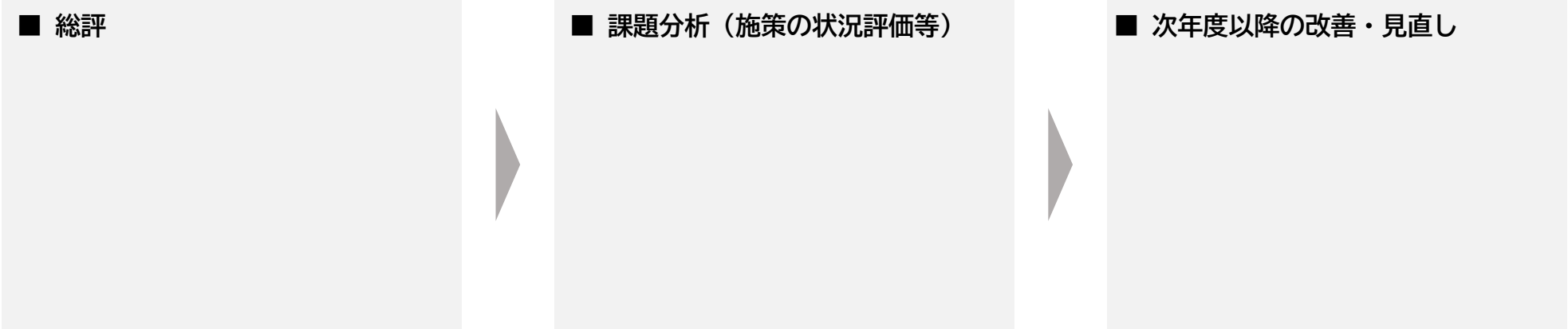
基本方針	1：プロモーション強化
具体的な手法	①岸和田の観光資源を知ってもらう基本的な観光情報の発信の強化【海外】
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針2-①②③④

A：現状と課題（計画より） 観光創造ビジョン・岸和田の課題①・②・③・④に記載のとおり、観光地としての認知度、観光情報及び観光情報発信、ターゲットに応じた観光戦略、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 海外向けに本市の認知度を向上させるためには、様々な手法による情報発信が必要。	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など） (1)関西国際空港プロモーションスペースでのPRブース設置 【事業概要】 (1)関西空港駅旅の広場(駅の改札前の広場)において1週間PRブースを設置し、関西国際空港利用者、特にインバウンド向けに本市の観光コンテンツのPRを行う。 【めざす成果】 (1)関西国際空港到着直後のインバウンド観光客に直接岸和田のPRを行うことで、日本滞在期間中の立ち寄り観光の促しと、本市の認知度向上による次回以降の来訪客増加を目指す。
C：取組みの進捗（R 6.10.2 現在） (1)令和6年10月29日から11月4日までブース設置に向けて、関西エアポート株式会社と調整中	
D：今後の予定 (1)令和6年10月29日から11月4日までブース設置	



基本方針	1：プロモーション強化
具体的な手法	③多様な主体との連携強化【海外】
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針 1 -海外① 基本方針 2 -③

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・②・③・④に記載のとおり、観光地としての認知度、観光情報及び観光情報発信、ターゲットに応じた観光戦略、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 本市の認知度を向上させるためには、本市だけでなく、産学官の関係機関との連携を図り、多様な情報発信手法の構築が必要。	(1)大阪観光局との大阪・関西万博に向けた周遊促進協働デジタルマーケティング事業 【事業概要】 (1)大阪観光局が運営するデータマネジメントプラットフォーム(DMP)を活用し、同局と協働しながら本市のプロモーションや昨年度造成したインバウンド富裕層向け体験コンテンツのブラッシュアップ等を実施する。 【めざす成果】 (1)プロモーションの実施及び体験コンテンツの販売を通して、本市の認知度向上及び来訪後のリピーター化及び消費額の増加を目指す。 【数値目標】 (1)商品販売数:10件
C：取組みの進捗（R 6.10.2 現在）	
(1)令和 6 年 1 月より本格和装を楽しむガイド付きツアーを販売。香港人ライターによるweb記事を作成のうえ、香港向けに記事を発信。	
D：今後の予定	
(1)上記ツアー内容を見直し、修正版の販売を検討	



基本方針	2：観光コンテンツの充実
具体的な手法	①だんじり文化を活かした通年観光の促進の強化
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針 1 - 国内①②③、基本方針 2 - ③、基本方針 3 - ①③

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題④・⑤に記載のとおり、観光コンテンツの開発と魅力の発信、事業者と一体となって観光振興に取り組むための働きかけが不足している。 だんじり会館を拠点として、だんじり祭当日だけでなく、1 年を通してだんじり文化を体感・体験できるコンテンツの開発が必要。	(1) きしわだ地車小屋巡りウォーク (2) だんじり会館企画提案事業 【事業概要】 (1) だんじり祭を前に、ボランティアガイドや各町会の案内により、各町のだんじり小屋や観光施設を巡る。 (2) だんじり会館の指定管理者による、だんじり祭を広く紹介するような事業の実施。 【めざす成果】 (1) (2) だんじり祭当日以外でだんじりに触れ合う機会を提供することで、本市の認知度向上、誘客促進及び来訪後のリピーター化を目指す。 【数値目標】 (1) 10人×7コースの70人
C：取組みの進捗（R 6.10.2 現在）	
(1) 計7コース実施済 (2) ミニだんじり曳き回しイベント（5/5）、蔵出し展（8/20～9/29）	
D：今後の予定	
(2) だんじり関連の講座や展示を実施予定	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	2：観光コンテンツの充実
具体的な手法	②豊富な特産品を活かした「食」観光の推進
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針 1 - 国内①②③ 基本方針 2 - ④

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・④・⑤に記載のとおり、観光地としての認知度、観光コンテンツの開発と魅力の発信、事業者と一体となって観光振興に取り組むための働きかけが不足している。 「食」は観光の大きな目的であるものの、本市の豊富な特産品を活かしたコンテンツやメニューが十分とは言えないため、新たな「食」観光の推進が必要。	(1) 桃を活用した日帰りバスツアー造成及び催行業務 (2) 日帰りバスツアー造成及び催行業務 (3) スイーツコンテスト 【事業概要】 (1) (2) 大阪市内及び京阪神を起点とした、岸和田産の果樹を中心としたバスツアーを実施 (3) 和菓子や洋菓子等のスイーツをコンテンツにした周遊ラリー及びコンテストの開催やスイーツマップの作成 【めざす成果】 (1) (2) 岸和田市の食の認知度を向上させるとともに誘客促進を図り、観光地ではないという印象の払しょくや、観光地としてのイメージアップを目指す。 また、将来的には旅行会社による自走化を目指すことで、「食」の通年観光を図る。 (3) 観光動機として重要な「食」について、事業者との協力のもと、本市の食の魅力向上及びその発信と地域と協働で観光振興に取り組むための機運醸成を目指す。 【数値目標】 (1) 設定数：2 催行数：2 (2) 設定数：10 催行数：6 (3) 協力事業者数：20店舗 参加者数：2,400人 一人当たり消費額：1,500円
C：取組みの進捗（R 6.10.2 現在）	
(1) 6/23、7/15 催行 (2) シャインマスカット：9/28 催行済 (3) 8/5 事業者契約 現在参画事業者調整中	
D：今後の予定	
(2) シャインマスカット：10/8 催行確定 いちご：1～2月頃開催に向けて事業者と調整 (3) 実施期間：11/15～1/31（予定）	

■ 総評

※ここは事業の総評ではなく、
該当する基本方針の総評を記載

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し

基本方針	2：観光コンテンツの充実
具体的な手法	③豊かな歴史資源を活用した体験型コンテンツの開発と発信
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-国内①②③海外①③

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・③・④に記載のとおり、観光地としての認知度、ターゲットに応じた観光戦略、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。岸和田城や城下町等の豊富な歴史資源を活用し、岸和田だからこそできる体験型コンテンツの開発とその情報発信が必要。	(1)復興天守70年記念 お城談義 (2)復興天守70年記念 岸和田城がふるえる (3)復興天守70年記念 夜間貸切の岸和田城での薪能鑑賞 特別な空間で幽玄なひとときを！ (4)復興天守70年記念 武者行列 (5)岸和田城・二の丸広場観光交流センター企画提案事業 【事業概要】 (1)落語家で城郭愛好家の春風亭昇太師匠と、城郭研究の第一人者である滋賀県立大学名誉教授の中井均先生をお招きし、お城談義を開催。 (2)岸和田で語り継がれる伝説や、不思議なお話をテーマとした怪談話めぐりを開催。 (3)インバウンド向けに岸和田城庭園（八陣の庭）の周囲に能舞台と観覧席を設置し特別体験コンテンツとして販売を行う。 (4)蛸地蔵合戦になぞらえた甲冑武者が紀州街道や岸和田場内を練り歩くイベントを開催。 (5)指定管理者による、岸和田市の歴史文化を活用した事業の実施。 【めざす成果】 (1)～(5)岸和田城（天守閣・八陣の庭）の認知度向上、リピーター化や、岸和田城に隣接する、国・市有形文化財の認知度向上により、インバウンド含む訪問客増、滞在時間増、消費額増を目指す。 【数値目標】 (1)～(4) メディア掲載数：7件
C：取組みの進捗（R 6. 10. 2 現在）	
(1)5/5に開催済 (2)8/4に開催済 (3)参加申込募集中 (4)実施に向けて調整中 (5)岸和田城歴史講座(7/28)、岸和田城で一句、水ナス漬け体験実施済、甲冑体験実施済	
D：今後の予定	
(3)11/3、4に事業実施 (4)2/24開催で調整中 (5)岸和田城等関連事業予定	

■ 総評

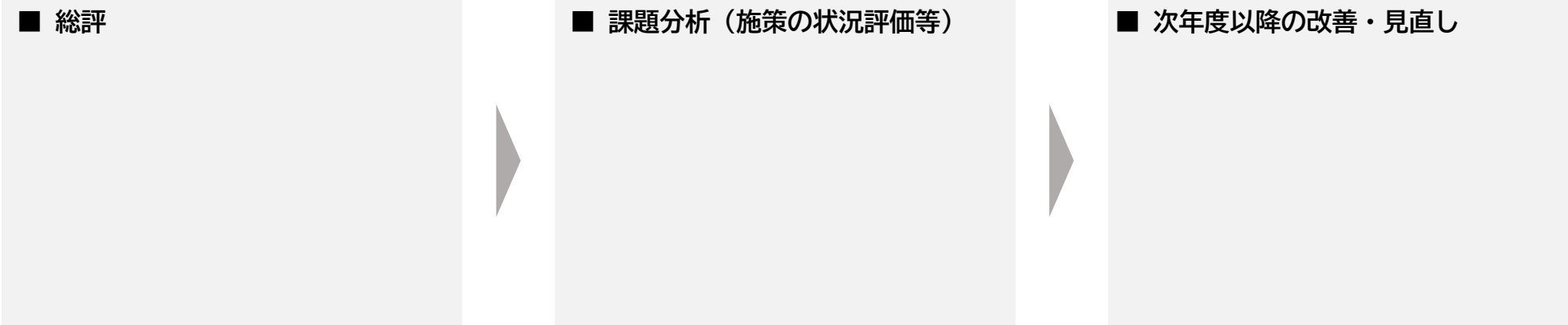
■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	2：観光コンテンツの充実
具体的な手法	④観光コンテンツの周遊促進の強化
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針 1 -国内①②③海外①③ 基本方針 3 -①

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容(事業概要・ターゲット・めざす成果など)
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・④に記載のとおり、観光地としての認知度、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 本市は豊富な歴史資源が海から山まで点在しているが、二次交通が不足しており、周遊がされていない現状にある。 点在している観光地を繋ぐ面的な観光の実現が必要。	(1)ライドアラウンド in 岸和田 ～岸和田 CYCLE EXPO ～ (2)岸和田サイクルイベント(CYCLE MODE 岸和田 FUN MEETING) (3)サイクルルートの設定およびツアー造成 【事業概要】 (1)市内の歴史・文化施設や景観、飲食店など最大100スポットを設定し、期間中に専用アプリを用いて自転車で街を巡り、スポットを訪れたり、グルメを楽しむことでポイントを獲得するイベント。上位入賞者や参加者には岸和田の特産品などの贈呈を予定。自転車での周遊促進を図る事業。 (2)毎年 東京・大阪で開催し、4日間で累計3万人以上を動員するサイクルモードの派生イベントとして、岸和田競輪場を会場としたサイクルイベントを開催。 (3)国内観光客向けにはサイクルモデルルートを設定する。外国人観光客にはサイクリングツアー商品を造成し、モニターツアーを実施。造成後には実際に販売する。 【めざす成果】 (1)点在する観光地を周遊する手段として自転車を活用する人が増え、面的な意味での観光が実現しているまちを目指す。また、周遊による観光消費額の増加を目指す。 (2)市内観光スポットの認知度向上。 (3)市内の周遊促進及び観光消費額の向上を通じ、地域活性化に寄与する。 【数値目標】 (1)参加者数:800人 (2)参加者数:1,700人 (3)ツアー造成数:2 サイクルルートの設定:2
C：取組みの進捗（R 6.10.2 現在）	
(1)10/5～実施 (2)(3):委託業者選定済み。実施に向けて調整中	
D：今後の予定	
(1)令和6年10月5日～令和6年12月4日に開催 令和6年10月5日にオープニングイベント開催(エントリー数:52) (2)実施内容及び実施日の調整(令和6年11月23日開催予定) (3)実施に向けて調整	



基本方針	3：受入体制の整備・充実
具体的な手法	①市民や事業者等が一体となって観光振興に取り組む機運醸成
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-国内①②③海外① 基本方針2-①②

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題⑤・⑥に記載のとおり、事業者と一体となって観光振興に取り組むための働きかけ、観光客に対する受入体制が不足している。 講座の開催、産学官の連携、市民への啓発、おもてなし観光、人材育成の推進を行い、事業者に観光振興への協力を求めていることが必要。	(1) アウモ株式会社との連携協定 (2) 関西大学連携事業 (3) まるごとぜんぶ岸和田の本 【事業概要】 (1) 岸和田市内における観光やグルメ情報などの情報発信。 (2) 関西大学外国語学部の学生と連携し、市内の観光スポットや飲食店を紹介するウェブサイトを作成。また、インスタグラムやTikTokを用いての情報発信。 (3) 岸和田市の食文化・グルメ、自然と文化財、街の魅力、人の魅力、農業、産業、レジャー、未来へ向かう最新の岸和田を取り上げ、まるごと一冊岸和田市の魅力を詰め込んだ本を製作する。 【めざす成果】 (1) 事業者との協力のもと、本市における観光やグルメ情報などの情報発信を行い、誘客を目指す。 (2) 大学生との連携により、若年層の観光ニーズを把握することと、大学生目線の新たな観光スポットの掘り起こしにより、新たな事業者の観光振興への機運醸成につなげる。 (3) 事業者との協力のもと、本市の食の魅力向上及びその発信と地域と協働で観光振興に取り組むための機運醸成を目指す。 【数値目標】 (1) 登録事業者数：20件
C：取組みの進捗（R 6.10.2 現在）	
(1) 7/23連携協定締結、事業者募集と記事の公開 (2) 学生による取材終了 (3) 調整つかず、不調	
D：今後の予定	
(1) 引き続き事業者募集 (2) SNS投稿の開始・ウェブサイト作成に向けて準備	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	3：受入体制の整備・充実
具体的な手法	②生活にも配慮した観光地としての基盤整備
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-国内①②③海外① 基本方針2-①④

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題⑤・⑥に記載のとおり、事業者と一体となって観光振興に取り組むための働きかけ、観光客に対する受入体制が不足している。観光地としての基盤を整えるため、観光客のニーズに応じたソフト面及びハード面の整備が必要。	(1)城下町魅力向上事業補助金の創設 (2)岸和田城リニューアルプロジェクトクラウドファンディングの実施 (3)観光マップの多言語化や、QRコード活用による観光解説板の設置 (4)だんじり会館のトイレ洋式化 (5)まちづくりの館にFreeWi-Fiの設置、観光課管理施設に翻訳機導入 【事業概要】 (1)市内の宿泊施設を増やすため、市内で宿泊サービスを提供しようとする事業者に対し施設の整備に活用できる補助制度を新たに創設する。 (2)岸和田城天守閣耐震対策基本計画に基づき、耐震補強及びバリアフリー化と同時に施設内の展示や内装のリニューアルを行うための財源確保を目的としてクラウドファンディングを実施する。 (3)新たな城周辺マップの多言語版を作成。各だんじり小屋に各町を紹介するQRコード解説板を設置。 【めざす成果】 (1)市内の宿泊施設が増えることにより、観光客の滞在時間増・消費額増を目指す。 (2)財源確保はもちろんであるが、クラウドファンディング実施により、岸和田城の認知度向上を目指す。 (3)関西万博を見据え、多言語マップの作成。各だんじり小屋のサイン充実による周遊促進強化。 (4)(5)インバウンド観光客に対しての対応強化 【数値目標】 (1)補助件数:1件 (2)メディア掲載数:4件 目標金額:第1弾1,000万円、第2弾2,500万円
C：取組みの進捗（R6.10.2現在）	
(1)他の補助制度と調整中 (2)令和6年5月31日から9月20日まで第1弾実施済(2,026千円)令和6年9月24日から令和7年3月31日まで第2弾開催 (3)観光マップの多言語化補助金申請手続き中。QR調整中 (4)事業者選定に向けて調整中 (5)FreeWi-Fi設置済。翻訳機事業者選定に向けて調整中	
D：今後の予定	
(1)年度内に城下町魅力向上事業補助金を創設予定 (2)年度内に実施する岸和田城関連イベント等にて周知に努める (3)(4)(5)補助金交付決定後、各種段取り	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	3：受入体制の整備・充実
具体的な手法	③歴史や文化を次世代に継承するための調査研究や市民への講座
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針2-① 基本方針3-①

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題⑤・⑥に記載のとおり、事業者と一体となって観光振興に取り組むための働きかけ、観光客に対する受入体制が不足している。講座の開催、産学官の連携、市民への啓発、おもてなし観光、人材育成の推進が必要。	(1) だんじり講座 (2) 岸和田城絵画募集 (3) まちづくりの館企画提案事業 【事業概要】 (1) 市民を対象にだんじりの歴史や文化を学ぶ体験等を実施。 (2) 岸和田市お城まつり こども万博において、岸和田城絵画を募集。 (3) 本町の小学生高学年を対象にステンドグラス工作会を開催し、その作品を府道堺阪南線西側歩道の灯籠に飾り付けを実施し、本町灯籠を活用する。 【めざす成果】 (1) だんじり会館以外においても、次世代の郷土愛を育むとともに、岸和田市の歴史・文化を発信する。次世代へのだんじり文化を継承する。 (2) (3) 本市で育つこどもたちの郷土愛を育みつつ、本市の歴史文化に触れることで、観光振興に取り組む機運醸成、「人しるべ」の育成につなげる。 【数値目標】 (1) 開催数：8回
C：取組みの進捗（R 6.10.2 現在）	
(1) 8/24 実施済（岸和田地区） (2) 4/8～5/5 作品募集 7/20～8/25 岸和田市観光交流センターにて展示済 (3) 8/10 工作会を実施(子ども4名、保護者4名) 府道堺阪南線西側歩道の灯籠に飾りつけ	
D：今後の予定	
(1) 他地区調整中 (3) 引き続き本町灯籠を活用	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し

